

第 2 学年	家庭 科	使用する教材： ・教科書 ・ノート ・実習教材	担当教諭 太田 真理
--------	------	----------------------------	---------------

学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。
--

通知表のつけ方

評価の観点		評価材料
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・めあて・振り返りカード ・ノート ・プリント ・小テスト ・レポート ・授業・実習の様子 ・製作作品
思考・判断・表現	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	

授業計画

	単元	学習内容	付けたい力	備考
前期 (4月～9月)	【衣生活】 目的に応じた衣服の選択	○衣服で伝わるメッセージ ○自分らしくコーディネート  ○つなげよう和服の文化  ○上手な衣服の選択	・衣服と社会生活との関わりがわかる。 ・TPO に合った服装を考え、自分らしくコーディネートすることができる。 ・和服と洋服の違いについて考えることができる。  ・衣服の表示を正しく読み取ることができる。	
	日常着の手入れと保管	○まかせて衣服の手入れ ○布の繊維に応じた手入れ ○めざそう洗濯名人 ○補修や収納・保管	・衣服の手入れの必要性がわかる。 ・取り扱い表示を正しく読み取り、素材に適した手入れがわかる。 ・衣服に合わせた収納方法を工夫することができる。 ・ボタン付けとまつり縫いの技能を身につける。	
	生活を豊かにするものの製作	○布による作品製作	・裁縫道具、ミシンやアイロンの扱い方を知り、生活の中で使うことができる。 ・意欲的に取り組み、物づくりを楽しむことができる。 ・安全に配慮しながら効率よく作業ができる。 ・道具を正しく安全に取り扱う力をつける。	
後期 (10月～3月)	持続可能な衣生活	○持続可能な衣生活をめざして	・環境や資源に配慮した衣生活を送るための課題を見つける力。	
	【住生活】 住まいのはたらきとこちよさ	○住まいのはたらき  ○住まいの空間	・住まいの基本的な機能がわかる。 ・日本の伝統的な住まいの特徴を挙げることができる。 ・家族の生活の仕方によって住まい方を工夫することができる。 ・家庭内事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間を整える力。	
	安全な住まいで安心な暮らし	○家庭内事故への備え  ○災害への備え	・災害に備えて室内を安全に整備する必要性を理解し、災害対策を考え、生活に生かそうとする。 ・SDGs と住生活の関わりを考え、自分にできることを考える力。	
	持続可能な住生	○持続可能な住生活をめざして	・住生活レポートを使い、実践したことを表現することができる。	
	【消費と環境】 持続可能な社会	○消費行動と環境  ○持続可能な生活の創造	・環境に配慮したライフスタイルを目指し、家庭や学校で取り組めることを具体的に考える。 ・SDGs の目標において自分の取り組み方を考えることができる。	